

令和2年度第3回富山県総合教育会議 議事録

1 日時 令和3年1月22日(金) 10:00～11:00

2 場所 富山県庁4階大会議室

3 出席者 富山県知事 新田 八朗

富山県教育委員会

教育長 伍嶋 二美男

委員 山崎 弘一

委員 町野 利道

委員 村上 美也子

委員 大西 ゆかり

委員 鳥海 清司

4 事務局出席者 理事・総合政策局次長 津田 康志

教育次長 清原 明宏

教育次長 坪池 宏

参事・企画調整室課長 朝倉 正

教育企画課長 松井 邦弘 他関係課職員数名

5 議事

第2期富山県教育大綱(案)について

6 会議の要旨

司会が開会を宣し、新田知事の挨拶後、富山県総合教育会議運営要領第3条の規定により、以後の議事については知事が進行した。

(新田知事)

・第2期富山県教育大綱(案)について、事務局から説明していただきたい。

朝倉参事・企画調整室課長、松井教育企画課長が資料1～資料3に基づいて、「第2期富山県教育大綱（案）について」説明した。

（新田知事）

- ・事務局から説明があったが、ただいまから委員の皆様から御意見を伺いたい。

（町野委員）

- ・資料1の大綱の概要に、いきなり10の重要テーマが出てきた。この10の重要テーマと、全体との関係がよくわからない。説明していただきたい。

（事務局）

- ・この10の重要テーマというのは、第1期大綱から新たな視点として追加している項目の中で特に重要なテーマを10考えているということである。この10のテーマに考慮しながら、9つの基本方針を書き込んでいったという位置づけである。

（町野委員）

- ・10の重要テーマに個別にコメントなどを入れていただくと、わかりやすくていいと思う。
- ・3つの横断的取組みについて言うと、今回、9つの基本方針を貫く横断的な取組みとして、新たに、「課題解決型教育」の展開、「ICT教育」の推進、「チーム富山教育」の実現の3つが掲げられており、基本理念である「地域社会や全国、世界で活躍し、未来を切り拓く人材」を育成する上で、たいへん大事な取組みであると思う。
- ・3つの横断的な取組みとともに、今お聞きしたが、10の重要テーマが掲げられており、県民や教育関係者に対して、わかりやすくなっていると思う。
- ・未来を切り拓く人材の育成というところで、企業経営者からいえば、専門的な知識、技術を身につけ、地域産業の持続的な発展を支える職業人を求めているが、今までの詰め込み教育から課題解決型教育への転換を進めていってもらえればと思う。
- ・このため民間とも連携した「チーム富山教育」という新しい方針の推進が大

切だと考えている。

- ・「ICTを活用した教育」の推進については、第2回総合教育会議で述べたが、県として「デジタル教育日本一」を目指していくべきだと考えている。
- ・大綱の基本方針2方向性②の取組みの基本方向「教育環境のデジタル化を計画的かつ組織的に進めるための推進体制を整備する」というふうに盛り込まれていて、期待したいと思う。今後この方向に沿って進めていくにあたって、教育CIOやアドバイザーとか、会議の設置とか、協議していく、いわゆる入れ物については良いものができると思うが、会して決せずというふうにならないように、是非、成果を出していただければと思う。
- ・高等学校の特色化について、重要テーマに「高等学校の特色化・魅力化」を掲げており、基本方針4方向性①の取組みの基本方向に普通科、職業科、定時制課程・通信制課程、特別支援学校それぞれの特色化ある学校の魅力化を図っていく方向が記載されたことには意義があると思う。今後、来年度策定する教育振興基本計画において、具体的な施策を進めていただきたいと思う。

(山崎委員)

- ・この教育大綱は、多岐にわたってまとめられており、しっかりした構成と内容になっていると思うが、4点について意見を述べたいと思う。
- ・最初に、プロジェクト学習の推進についてであるが、新学習指導要領においては「思考力・判断力・表現力」などの「考える力」の育成に繋がるものとして、生徒自らが問題を発見し解決する能力である「問題解決の力」が示されている。問題解決型学習である「プロジェクト学習」は、この「問題解決の力」を身に付けるのに有効なものであり、教育大綱の重要テーマに挙げられたのは良いことだと思う。プロジェクト学習には[チュートリアル型]と[実践体験型]があるが、いずれの形をとろうが、その実施に当たっては、教科横断的な視点に立ったカリキュラム・マネジメントを行うことが必要である。また、必要に応じて、地域や高等教育機関、行政機関、民間企業などと連携・協力することが必要であると思う。
- ・次に、ICTを活用した教育の推進についてであるが、ICTの活用に関し

では、第2回総合教育会議において、各学校におけるICT環境の整備の必要性や、ICTを活用した教育の展開の必要性などについて述べたところである。今回の教育大綱において、重要テーマとして「ICT教育の推進」が掲げられ、基本方針2の中に、新たな項目として示されたのは良かったと思う。ICT環境の整備については、現在、1人1台の学習者用端末や指導者用端末の整備、また、無線LAN・高速インターネット・クラウドなどの整備が進められている。今後、デジタル教科書の使用やデジタル教材の活用といった、ICTを活用した新しい形の教育の推進が求められると思う。また、取組みの基本方向として、ICT活用の実践例の紹介や教職員の研修の充実、また、デジタル教科書やデジタル教材の活用などについて具体的に記載されており、教育委員会としても、この方向に沿って取り組んでいく必要があると思う。

- ・第3に、教員の働き方改革の推進についてであるが、働き方改革については、第2回総合教育会議で、教育大綱の大きなテーマにすべきと述べたが、実際に重要テーマに位置づけられ、大変良かったと思う。教職員の負担軽減を図って、児童生徒と向き合う時間を確保する上で有効な手段とされているのが統合型校務支援システムの導入であるが、取組みの基本方向として、ICT活用による業務の効率化が記載され、また、参考資料の「主な施策」には統合型校務支援システムの整備が記載されており、今後、教育委員会としても、その導入に向けて取り組んでもらいたいと思う。
- ・最後に、特別支援教育の充実についてであるが、基本方針3の取組みの基本方向に記載された、特別支援教育将来構想会議（仮称）を設置するということについてだが、このような会議の設置は、障害のある子どもの自立と社会参加の実現を図る上で、大変大きな意義があると思う。今後、この会議において、特別支援教育・就労支援のあり方について、充分検討して将来構想の策定に向けた取り組みを進めてもらいたいと思う。以上である

(新田知事)

- ・ありがとうございました。ここまでのご発言についてコメントさせていただく。

- ・まず、町野委員のご意見についてだが、私としても、これからの本県の教育は、技術革新やグローバル化など社会の変化に対応できるよう「課題解決型の教育」の展開や、社会全体のDX加速に応じた「ICT教育の推進」、地域社会とつながる、教え合い学び合う協働的な学び「チーム富山教育」の実現を目指して、教育委員会と連携しながら、子どもたちが社会に出て活躍できる力を育める最高の環境を与え続けていくことがたいへん重要と考えている。
- ・未来を切り拓く人材の育成というご発言をいただいた。新学習指導要領の円滑な実施のために、課題解決型教育を取り入れた新時代にふさわしい学びを支援するとともに、教育委員会には民間企業さんの協力を得て、小・中学校での起業体験や高等学校でのインターンシップなど、発達段階に応じたキャリア教育を充実させて、地域を支え富山で活躍できる人材の育成に努めていただきたいと思います。
- ・ICTに関連して、教育委員会では、来年度、教育環境のデジタル化を統括する「教育CIO」やその補佐役、アドバイザーなどで構成する「教育環境のデジタル化推進会議（仮称）」を設置し、その構成メンバーには、ICT教育の専門家やICT技術の実業経験者も含める方向で検討している。民間の発想、ノウハウを柔軟に取り入れ、ICTを活用した教育を推進してもらいたいと思う。
- ・高等学校の特色化・魅力化であるが、今後の高校教育については、地域の特色や産業界のニーズ、グローバル化の進展などを踏まえて、どのような人材の育成に取り組むのかも念頭に、普通科や職業科などの学科のあり方や、特色と魅力ある教育内容、施設整備等に関する基本的な方向性について協議する場を設けるなど、教育委員会で幅広く丁寧に検討する。
- ・次に山崎委員のご発言についてである。プロジェクト学習を推進する上で、学校内の学びだけではなく、地域や高等教育機関、行政機関、民間企業等と連携・協働することが重要であると考えられることから、「課題解決型教育」の展開と、地域社会と連携し、学び合い、教え合う「チーム富山教育」の実現を、教育委員会とともに進めてまいりたい。
- ・教育委員会では、教員のICT活用指導力の向上を図るため、各教科のIC

T活用研修会などを対面・集合型研修とオンライン研修で実施するほか、デジタル教科書の導入効果の検証や実践事例を掲載したガイドラインの作成などを進めていると聞いている。ICTを活用した学習活動の充実を図り、教員及び児童生徒の資質・能力を最大限に引き出せるよう取り組んでいただきたい。

- ・教員の働き方改革については、教員の採用確保の面からも重要テーマとして認識しており、教育委員会で昨年度設置した、働き方改革に向けた取組みを検討する「とやま学校多忙化解消推進委員会」での議論も踏まえ、引き続き積極的に進めてまいりたい。
- ・統合型校務支援システムの導入については、業務の効率化や教育の質的向上を図る上でも重要と考えており、教育委員会で導入に向けて課題を整理し、検討を進めてもらいたい。
- ・特別支援教育について、私の政策集にも掲げていたが、教育委員会では、来年度、富山版「特別支援教育将来構想会議（仮称）」の設置に向けて準備を進めていると聞いている。障害のある子どもや保護者一人一人が将来に希望をもち、自立と社会参加を実現できるよう、多様な学びの場における特別支援教育、また、学校・企業・家庭が一体となった就労支援の一層の充実のための方策をしっかりと検討してもらいたい。

それでは、引き続き、意見を伺う。

(鳥海委員)

- ・3点発言させていただく。1つ目は、少人数教育の推進についてであるが、第2回総合教育会議で、小学校の専科教員配置の取組みの拡張について述べたが、新たな教育大綱にも、小学校における教科担任制の導入を見据えた専科指導の充実が盛り込まれており、たいへん良いと考える。
- ・政府は、小学校全学年で1学級を40人から35人以下にする方針を打ち出したが、本県の新たな教育大綱案の重要テーマの一つにも「少人数教育の推進」が掲げられている。来年度、この教育大綱に基づき、新たな教育振興基本計画を策定することになるが、少人数の具体的数値目標を掲げることも含めて

検討を推進していただきたい。

- ・ 2点目はデータサイエンス教育についてである。今回の教育大綱では10の重要テーマの1つにデータサイエンス教育の推進が掲げられて、37ページにも、基本方針4方向性③で、「県内高等教育機関へのデータサイエンス教育を普及・推進する」と記述された。大綱では、主な施策までは記述されないとのことであるが、データサイエンスという新しい用語であることから、この37ページのところに四角囲みとして、この定義を示したり、来年度策定される教育振興基本計画に盛り込む主な施策に、その明確な定義も含めて記述していただきたいと考えている。
- ・ 3つ目は、スポーツを支える人材の育成と活用についてである。59ページに記述のある基本方針8の方向性④では、スポーツを支える人材の育成と活用について記載されており、その取組みの基本方向で、「質の高いスポーツ指導者の育成」と記述されており、これはとても大事なことだと考えている。優れたスポーツの指導者というのは、単に実技に秀でているものだけではないはずであり、どのような能力を持った指導者なのか、どんな資格を有している指導者なのかを具体的に示すのがよいのではないかと考えている。

(村上委員)

- ・ 私の方からは、心の教育、幼児教育などについて4点発言する。
- ・ ICTを活用した教育は、今後絶対必要であり、進めていくべきだと思うが、対面でなければできないことがあり、それぞれの役割、良いところを生かしたハイブリッド型の教育を推進していただきたい。
- ・ ICT環境と同時に心の教育、道徳教育に力を入れていただきたい。皆で力を合わせる、あきらめない、達成感が味わえるような体験が重要であると考えている。
- ・ 幼児教育の充実について第2回総合教育会議で、幼児教育の推進リーダーの育成が必要と述べたが、今回重要テーマの一つに「幼児教育の充実」が掲げられ、基本方針3の方向性②の取組みの基本方向にも、幼児教育に関して、非認知能力の育成が記載されている。意欲、協調性、忍耐力などの非認知能力を育成することは大事なことであり、教育委員会として、この取組みの基

本方向に沿って、今後の施策を推進していただきたい。

- ・ 3つ目は働き方改革についてである。現状、COVID-19の感染拡大により、新たな事柄が学校の方に押し寄せてきており、それに対応していくためには、学校にきちんとした体力が必要だと思う。感染症への正しい理解を進める教育、差別やいじめが起きないような指導の徹底、消毒等の作業の手伝いなど、様々な対応を行っており、大きな影響を受けている学校現場の負担を減らすよう十分なサポートを行っていただきたい。
- ・ 最後に教員の資質向上についてだが、今後大量に経験豊富な先生がどんどん少なくなっていくという中で、若手の先生方が早期に育つような教育の充実が望まれる。全国のさまざま好事例を取り入れて取り組んでもらいたい。

(大西委員)

- ・ 私からは複雑な問題を抱える児童生徒への対応、外国人児童生徒教育の推進などについて発言する。
- ・ まず、様々な問題を抱えている児童生徒の支援についてだが、基本方針1 学校、家庭、地域で取り組む子どもの成長支援の目標は、「子どもたちが」から始まっているが、私の思いとしては、「すべての子どもたちが」と謳っていただきたい。
- ・ 基本方針1 方向性①取組みの基本方向について、不登校になるなど児童生徒の学習機会が制約される理由としては、家庭の経済状況だけではないと考えられる。一人親家庭であったり、子どもが家族を介護していたり、昨今、ヤングケアラー問題として取り上げられることも多いが、このようなことなど、子どもたちが家庭で様々な複雑な問題を抱えていることがあり、取組みの基本方向に加えていただけたらと思う。
- ・ 複雑な問題を抱える児童生徒に対しては、スクールカウンセラーのみならず、スクールソーシャルワーカー・スクールロイヤー、地域・関係機関などが連携し、相談・支援体制を強化することが必要と考えている。
- ・ 今回、重要テーマに、「外国人児童生徒の教育機会の確保」があげられている。基本方針4 方向性①の取組みの基本方向に、外国人児童生徒への教育支援が新たに盛り込まれた。大綱には、主な施策は記載されないとのことだが、大



綱の取組みの基本方向に基づいて、来年度策定する教育振興基本計画には、外国人児童生徒のニーズに対応した学習支援体制の充実、外国人児童生徒等に対するキャリア教育の充実、外国人保護者への進学に関する理解促進などの具体的な施策を検討され、是非入れていただければと思う。

- ・最後に、発達障害をもつ児童生徒、保護者への支援についてである。発達障害について、PTAで研修会を行うと興味や関心のある保護者が非常に多い。一方で、家族・学校をはじめ社会的な理解はまだ不足しており、理解を広めたり、深めたりする活動が必要ではないかと感じている。発達障害のある子どもについては、診断を受けていないケースも多く、家族の理解が得られず、結局当該児童・生徒に合った学習の支援ができないこともあると聞いている。家族が心配に思ったときに、専門家に気軽に相談できるような体制を充実させることで、一人ひとりの障害に合わせた教育を考えることができると思う。

(伍嶋教育長)

- ・今回の教育大綱の改定においては、この間、様々な経済社会、教育を取り巻く環境が激変をしている。それを踏まえて、先ほども議論されていたが、新たに10項目の重要テーマを掲げ、また、9つの基本方針を貫く取組みを掲げている。特にICT教育は叫ばれていて、それぞれ、児童・生徒の能力に応じて、誰一人として取り残すことのない、そういった教育を目指すこととしている。今後、コロナ禍において学校が臨時休校になるという可能性もあり、そうしたことに対応するためにも、ICT教育というのはさらに拡充をしていく必要があるというふうに思っている。
- ・こうした様々な方針、取組みの基本方向が記載されているが、こうした取組みを進めていくためには、当然、関係団体、地域、保護者の方々等にご理解をしていただくことが何よりも重要であると思っている。そして、一斉に取り組むことは難しいので、優先順位をつけながら施策を実行していくことが、大切であると思っている。そのためにも、今後必要となる予算の確保の面や、あるいは、知事部局の関係課との協力や連携にご配慮いただきたいと考えている

(新田知事)

- ・ありがとうございました。それでは、ご発言のあったことについてコメントさせていただきます。
- ・鳥海委員から、少人数教育の推進についてご発言いただいたが、本県では、これまでも、国の加配定数に加えて、県単措置により小学校における専科指導を実施してきている。令和3年度政府予算案においては、昨年度に引き続き、小学校専科教員の増員が盛り込まれた。これを十分に活用し、専科指導体制のさらなる拡充を図り、小学校高学年における教科担任制の充実に取り組んでまいりたい。
- ・小学校における35人学級について、国では標準法を改正され、令和3年度から5年間で順次実施する計画を示されている。本県では、少人数指導と少人数学級の組み合わせによる少人数教育を推進しているが、市町村教育委員会の意見も聞きながら、少人数学級の対象学年の年次進行による拡充など、教育委員会において来年度以降の具体的な対応策を検討してもらいたい。
- ・データサイエンス教育について意見をいただいたが、AI、IoTなど経済・社会のデジタル化が進展するなか、数理的思考やデータ分析・活用能力をもつデータサイエンティストの育成、データサイエンス教育の推進は重要であると考えており、先ほど町野委員からも意見をいただいたが、私の政策集においても、日本一のデータサイエンティスト教育の実現を掲げている。来年度、教育委員会で策定する教育振興基本計画においては、データサイエンス教育の定義も含め、具体的な施策について盛り込んでいく。富山大学では大変力を入れておられると齋藤学長から伺っておりご指導などをいただければと思う。
- ・スポーツを支える人材の育成については、鳥海委員ご指摘のとおりであり、教育大綱のなかにしっかりと記述していきたいと思う。スポーツの指導者については、本当にいろいろの資格があり、日本スポーツ協会公認指導者、あるいは各中央競技団体が定める公認指導者など、そういったことも踏まえて、質の高いスポーツ指導者を育成し、活用していきたいと考えている。
- ・次に村上委員のご意見について、1人1台タブレット端末が活用できるようになり、オンライン教育などの学びとともに、対面授業においても、デジ

タル教材の活用を組合せた効果的な学びの推進が可能となる。そしてまた、「対面だからできること」というご指摘も最もだと思う。ハイブリッド型教育、オンライン教育と対面指導の適切な組み合わせによる効果的な教育に取り組んでいく。その際には、心の教育や道徳教育にも十分配慮することが大切であると考えている。

- ・ 幼児教育の充実だが、教育委員会では、子どもたちの非認知能力等を高めるため、幼児教育推進リーダーの育成に取り組んでおり、今後とも、関係団体等と連携しながら、幼児期の子どもの自己肯定感や非認知能力の育成を含めた幼児教育の質の向上に取り組んでもらいたいと考えている。
- ・ 働き方改革だが、これまでも教職員の負担軽減を図るために、教員の補助的業務を担うスクール・サポート・スタッフを毎年拡充して配備している。加えて、今年度は、国の補正予算を活用し、コロナ対策のための学校内の衛生管理に関する業務等を担う緊急スクール・サポート・スタッフを配置しており、新年度以降の継続や配置拡充について国の状況を踏まえて前向きに検討を進めたい。
- ・ 教育の資質向上は永遠のテーマであるが、教育委員会では、若手教員が増加している現状、先ほどご指摘のあったベテラン教員が退職していく現状において、教育理念や指導技術を継承していくため、継続的・計画的な若手教員研修を導入している。教員としての自覚や使命感・倫理観を高め、実践的指導力や問題解決・対応力の向上に努めてもらいたい。
- ・ 大西委員からのご発言について、まず、様々な問題を抱えている児童生徒の支援に関してご指摘のあった点について、「すべての子どもたちが」とする方向で修正を図ることとしたい。
- ・ 家庭における経済状況の変化に伴って支援が必要となる児童生徒の増加や、年齢や成長の度合いに見合わない重い責任や負担を負って、本来、大人が担うような家族の介護や世話をを行うヤングケアラーといわれる児童生徒の状況の深刻化が懸念されている。これらについて、取り組みの基本方向に盛り込んでいく。
- ・ 問題を抱える児童生徒については、教育委員会において、スクールカウンセラー等の専門家の活用や地域・関係機関と連携することで、組織的な相

談・支援体制の強化を図りながら、生徒指導上の諸課題に対して、早期発見、早期対応、早期解決に取り組んでもらいたい。

- ・外国人児童生徒の教育機会の確保について、目下、教育委員会では、5か国語、ポルトガル語、中国語、タガログ語、ウルドゥー語、英語によるパンフレット「とやまの高校進学ガイド」やDVDを作成するとともに、ホームページにも掲載しているほか、出前県庁しごと談義としての要望に応じて直接出向いて説明していると聞いている。
- ・また、個別の状況に応じた指導を行うため、日本語指導が必要な児童生徒が多く在籍する学校に、日本語指導教員を配置しており、さらに、一人一人の子どものニーズに応じた指導が行われるよう、担当教員の指導力向上を図る研修など各種施策の推進に努めてもらいたい。
- ・発達障害のある児童生徒への支援について、発達障害を含む障害のある子どもたちの自立と社会参加の実現に向けては、学校、家庭をはじめとする関係者の理解と連携による、ライフステージに応じた切れ目ない支援が必要であると思っている。
- ・教育委員会では、子どもたちの理解や適切な支援と連携に関するリーフレット等を作成し、配布や紹介を行っているが、今後とも、県総合教育センターでの対応や小中学校巡回指導員・高等学校巡回指導員の配置により、本人・保護者への相談支援体制のさらなる充実に努めてもらいたい。
- ・教育長からの発言に関してであるが、大綱の趣旨を踏まえて、関係者のご意見をお聞きし、必要な予算の確保について十分検討してまいりたい。
- ・いずれにしても、教育は、未来の富山を担う人材を育成するために重要であることから、子どもたちが社会に出て活躍できる力を育める最高の環境を与えつづけられるよう、教育への思い切った投資をしてまいりたい。
- ・また、私個人の経験であるが、高校時代、同級生が私を助けてやろうということで、手を差し伸べて、勉強を教えてくれたことがあった。教え合い学び合うことができる「チーム富山教育」を精一杯盛り込んだ基本方針で進めていきたい。
- ・それでは、以上をもって今日の会議は終了させていただく。